

2012. 5. 27



NPOフォーラム・だより No.47

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp/ Blog 安房国再発見 http://ameblo.jp/awabunka1

定期総会のお知らせ

NPO安房文化遺産フォーラムの会員は、総会の出席権利を有するA会員（年会費2,000円）と出席しないB会員（年会費1,000円）の2種類に分かれています。今年度の総会は、**6月23日（土）午後**に開催しますので、追ってA会員には案内状をお送りいたします。万障お繰り上げのうえご出席ください。なお今年度の会費未納の方とご入会希望あるいはご寄付くださる方は、郵便振替伝票にてご入金いただけますようお願いいたします。（ゆうちょ 00260-1-97307 安房文化遺産フォーラム）

知恵袋講座

…13:30～小高記念館 参加費 200円 NPOメンバーが語る楽しい茶話会です！

◎ 6月26日（火）語り手：村上吉夫さん「ドーム球場の設計に関わって」

NPOお花見懇親会場や映画『赤い鯨と白い蛇』の撮影地になった旧小原家の当主・村上さんは、後樂園はじめ福岡ドームなど、全国のドーム球場の建設に関わってきた設計士です。

◎ 7月25日（水）語り手：河辺智美さん「安房からウガンダの交流・支援活動」⇒**今回のみ水曜日です！**

愛沢授業実践をきっかけに旧安房南高校生から始まったウガンダ支援活動は、安房平和のための美術展など地域に根付いて20年になります。東洋大学国際地域学部4年の河辺さん（安房高出身）が、昨年ウガンダ研修で視察訪問した見聞報告をします。

◎ 8月28日（火）語り手：小谷福哲さん「青木繁が滞在した頃の小谷家」

小谷家住宅の若当主が、古文書などからみえてきた当時の様子や、青木繁の生まれ故郷・福岡県久留米市の皆さんとの交流などをご報告します。

巡回展 青木繁《海の幸》オマージュ展

主催：青木繁「海の幸」会 後援：館山市・同教育委員会 観覧料＝無料

協力：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会、NPO安房文化遺産フォーラム

◎ 6月26日（火）～9月2日（日） 会場＝“渚の駅”たてやま（館山市立博物館分館）

青木繁が滞在し「海の幸」が制作された小谷家住宅（館山市布良）を復元し保存する基金を募る目的で設立されたNPO青木繁「海の幸」会に所属する画家の方々が、青木繁「海の幸」を顕彰する作品をチャリティ展示する銀座展（6/11～16 ぎやらりーサムホール）に続く巡回展を開催します。館山市図書館でも青木繁「海の幸」に関わる書籍の特設コーナーを同時開催します。

◎ 7月14日（土）13:30～15:00 ギャラリートーク 講師：佐々木豊氏（画家） ワシオ・トシヒコ氏（美術評論家）

◎ 7月22日（日）13:30～15:00 ふるさと講座 講師：植野健造氏（福岡大学教授・青木繁研究者）館山市中央公民館

ツアーガイド&講演のスケジュール

*スタッフ募集中！ガイド見習いも大歓迎。

6月 3日（日）10:00～12:00 赤山地下壕ガイドサービス

6月 3日（日）11:00～15:00 さくら・志津憲法9条を守りたい会 15名＝座学・赤山・かいた村

6月 5日（火）12:30～18:00 曹洞宗人権主事研修 10名＝座学・赤山・かいた村・四面石塔

6月 8日（金）11:00～17:00 神奈川県私鉄青年女性協議会 30名＝座学・赤山・かいた村

6月16日（土）10:00～16:00 自治労連女性部 30名

6月21日（木）10:00～12:10 講演＝東京成徳大学八千代キャンパス 市民講座

「房総里見氏と『南総里見八犬伝』～市民による城跡保存運動を中心に」

6月29日（金） 追浜行政センター

7月 1日（日）10:00～12:00 赤山地下壕ガイドサービス

7月14日（土）10:30～11:30 大原自治会（小田急トラベル）

8月 5日（日）10:00～12:00 赤山地下壕ガイドサービス

8月 6～7日（月火）歴史教育者協議会全国大会 現地見学会（募集定員各40名：詳細裏面*印）

①房総半島の先端から東アジア交流史をみる ②東京湾要塞と本土決戦陣地をあるく

◆2012年歴史教育者協議会 第54回全国大会 in 千葉

テーマ：地域と子どもに根ざす～大震災・原発・地域再生を見据えて

NPOフォーラムは
歴教協の安房支部
です。ぜひ、みんな
で参加しましょう！

◎大会参加費 会員・教員 5,500円 (当日 6,000円) 学生・市民 1,500円 (当日 2,000円) 全体会 (記念講演) のみ前売 1,000円 ※現地見学の参加費はコースごとに異なり、下表参照		
8月3日 (金)	【現地見学】 A=久留島浩さんと語る新しい歴博近世展示 (佐倉市) 4,000円 B=安田常雄さんと語る新しい歴博現代展示 (佐倉市) 4,000円 C=宮原武雄さんと歩く江戸時代の新田村 (習志野市) 2,000円 D=騎兵連隊と毒ガス学校～「坂の上の雲」を考える (習志野市) 2,500円 E=大逆事件・菅野須賀子「針文字書簡」の謎～手賀沼畔に文人の足跡を訪ねる (我孫子市) 4,500円 【全体会】 記念講演 高橋哲哉 (東京大学教授・哲学) 「原発という犠牲のシステム～フクシマの犠牲と人間の責任を問う」 習志野文化ホール	
8月4日 (土) 8月5日 (日)	【分科会】 ①地域のほりおこし (*愛沢伸雄) ②前近代 ③日本近現代 ④世界 ⑤憲法と現代の社会 ⑥思想・文化 (*舟津悠紀) ⑦現代の課題と教育 (*チョンイルジ、*河辺智美) ⑧農業・食糧・食育 ⑨平和教育 (*池田恵美子) ⑩幼年・小学校低学年 ⑪⑫小学校中学年 ⑬小学校5年 ⑭小学校6年 ⑮地域の中の子どもたち ⑯中学校地理 ⑰中学校歴史 ⑱中学校公民 ⑲高校 ⑳大学 ㉑障がい児教育 ㉒父母市民の歴史学習 ㉓社会科の学力 ㉔授業方法 (特設)日韓歴史教育交流 *印=NPOフォーラムの発表者	千葉大学
8月4日 (土)	【地域に学ぶつどい】 ①戦跡と文化財を活かすまちづくり (NPOフォーラム担当) ②将門と古代房総との関わりをさぐる ③博物館における戦争展示 ④太平洋を渡ったあわびダイバーたち ⑤杉村楚人冠と大逆事件、そして3.11 ⑥辛亥革命と千葉の中国人留学生たち ⑦教研とともに歩んだ住民運動 ⑧韓国の教師と日本の高校生がともに学ぶ沖縄戦 (公開授業) ⑨教科書問題 (本部企画) ⑩震災被災地東北からの報告 (本部企画)	千葉大学
8月5日 (日)	【地域実践報告】 浅尾弘子 (千葉県歴教協) 「子どもの生活に根ざした授業で社会科の学力を育む～映画『蟹工船』を使って」	千葉大学
	【現地見学】 F=払い下げられた朝鮮人～遺骨の発掘と慰霊の跡を訪ねる (8/6=船橋・八千代市) 5,000円 G=漁船でまわる三番瀬と歩いてまわる漁師町 (8/6=船橋市) 5,500円 H=東京湾岸の古墳群～ヤマト王権との関わりに迫る (8/6=木更津・富津市) 7,000円 I=成田空港のすべて～開発・闘争から空の安全まで (8/5～6=成田市) 16,000円 J=佐原の町並みと香取神宮 (8/5～6=佐原市) 16,000円 *K=房総半島の先端から東アジア交流史をみる (8/5～7=館山市) 35,000円 *L=東京湾要塞と本土決戦陣地をあるく (8/5～7=館山市) 35,000円	

※ 参加申込はNPOフォーラムへ。詳細は別紙案内またはホームページをご参照ください。

◆第16回戦争遺跡保存全国シンポジウム 三重県鈴鹿大会

テーマ「戦争遺跡を平和のための文化財に」

会場：鈴鹿市文化会館

◎参加費 一般 2,000円 (一日参加 1,000円) 大学生 1,000円 (一日参加 500円) 懇親会 5,000円
8月18日 (土) 朗読劇・基調講演・地域報告・全国交流集会
8月19日 (日) 分科会 ①保存運動の現状と課題 ②調査の方法と整備技術 ③平和博物館と次世代への継承
8月20日 (月) 現地見学会 ①鈴鹿と北部コース ②志摩半島コース